

様式1

令和2年度 学校評価表

学校教育目標	美しい木々が健やかに育つ学校 〔自律・挑戦・創造・人間性・協栄〕 ～知・徳・体を磨き続け、郷土に誇りを持ち、グローバル社会を生き抜く生徒の育成～
--------	-----------------------------------------------------------------------------

a ミッション	小中連携を核とした確かな学力定着の取組の深化と発信	a ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善と積極的な生徒指導。組織的な学校運営を行い、主体性と創意工夫により、質の高い教育を提供できる学校 地域連携により人的・物的資源を生かした活動を行うことにより、地域に開かれ、保護者・地域と相互に高め合う安心・安全な学校
---------	---------------------------	--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

尾道市立美木中学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の育成 コンピテンシー(資質・能力)の育成	学習意欲の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員一人一研究のテーマに沿って授業改善を実施する。 新聞を活用した授業づくりを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究の成果があったと実感する教職員の割合 	100%	86%		86%	B	授業改善により、生徒の学習意欲が向上していると教職員一人一人が実感を持てるように学習前と学習後の生徒の変容を見取るなど具体的な実践をする必要がある。	○			<ul style="list-style-type: none"> 良いことだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞を読ませる目的をさらに明らかにし、社会の動向に興味・関心が高まったり、自分の考えが持てたりする生徒の育成に向けて、工夫を教職員間で共有しあう。
			<ul style="list-style-type: none"> 「社会の動向に興味・関心が高まった」に肯定的に回答する生徒の割合 	85%	55%		65%	C	新聞を読む活動と意欲・関心が結びついていない。目的を明確にして具体的な取組を進める必要がある。			○	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題ですね。 目標値を達成できるように頑張ってください。 	
豊かな心の育成 自主性・主体性・社会性の育成、自己肯定感の向上	自己肯定感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 個人内評価を充実させる取組を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分は役に立っている」に肯定的に回答する生徒の割合 	80%	62%		78%	C	「役に立つ」という状態を生徒がどのように解釈しているか、生徒実態と照らし合わせて学校生活の様々な場面で「役に立つ」「役に立っている」場面を意図的に設定する必要がある。			○	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と先生との信頼関係がしっかりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ただ褒めるのではなく、共感的人間関係の構築や褒めることの効果を教職員が実感し、「自分は役に立っている」と生徒が感じることができ実践を継続する。
			<ul style="list-style-type: none"> 「学校には自分のことを認めてくれたり、わかってくれたりする先生がいる」に肯定的に回答する生徒の割合 	80%	98%		###	A	教職員が生徒の個人内評価を充実させることができるよう、非常に丁寧に、指導・支援・援助をしている成果が出ている。生徒が安心して登校し、教室に居場所がある学級経営ができています。	○				
業務改善 働き方改革	組織的な学校経営の醸成。	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価の趣旨を理解し、実践できる教職員を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校経営に積極的に参画している」に肯定的に回答する教職員の割合 	80%	85%		###	A	学校経営の目標と自己申告とを関連させ、職員が分業等の業務を目標に向かって実施できるよう意識させた。	○			<ul style="list-style-type: none"> 継続して下さい。 休みながら結果を出す人材がこれからは求められます。よくできていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての教育活動が学校経営に参画していることを、教職員との丁寧なコミュニケーションにより実感させる。

【自己評価 評価】
A：100≦(目標達成)
C：60≦(もう少し)<80

B：80≦(ほぼ達成)<100
D：(できていない)<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。